



手塚 章先生近影

手塚 章先生略歴・著作目録

略 歴

1951年7月27日	神奈川県川崎市に生まれる
1970年3月	東京学芸大学附属高等学校卒業
1970年4月	東京教育大学理学部地学科地理学専攻入学
1974年3月	同上卒業
1974年4月	東京教育大学理学研究科修士課程地理学専攻入学
1976年3月	同上修了
1976年4月	筑波大学大学院博士課程地球科学研究科地理学・水文学専攻編入学 この間、1976年10月～1978年6月：パリ第1大学第3期博士課程人文地理学専攻に留学
1979年4月	筑波大学同上専攻を単位取得退学
1979年5月	筑波大学研究協力部文部技官
1982年3月	理学博士（筑波大学）
1982年6月	筑波大学講師地球科学系
1995年3月	筑波大学助教授地球科学系
1999年1月	筑波大学教授地球科学系
2004年4月	国立大学法人筑波大学生命環境科学研究科教授
2011年10月	国立大学法人筑波大学生命環境系教授
2012年4月	国立大学法人筑波大学名誉教授

現在までに勤めた非常勤講師

秋田大学教育学部
東北大学理学部
埼玉大学教養学部
東京大学教養学部
神戸市外国語大学
九州大学文学部

著作目録

1. 著書・訳書

- 1) 『ブラジル』（ピエール・モンベーク著、山本正三・手塚 章共訳）。1981年、白水社、160頁。
- 2) 『新しい地理学』（ポール・クラヴァル著、山本正三・高橋伸夫・手塚 章共訳）。1984年、白水社、156+2頁。
- 3) 『政治地理学入門』（K. A. ベスラー著、手塚 章訳）。1988年、古今書院、275頁。
- 4) 『地理学講座4 地域と景観』（中村和郎・手塚 章・石井英也共著）。1991年、古今書院、204頁。
- 5) 『地理学の古典』（編著）。1991年、古今書院、422頁。
- 6) 『世界地図を読む：図説世界地理』（高橋伸夫・山下脩二・菅野峰明・手塚 章・山下清海共著）1993年、大明堂、209頁。
- 7) 『統地理学の古典－フンボルトの世界－』（編著）。1997年、古今書院、378頁。
- 8) 『人文地理学辞典』（山本正三・奥野隆史・石井英也・手塚 章共編）。1997年、朝倉書店、525頁。
- 9) 『フランス文化と風景 上』（ジャンロベール・ピット著、高橋伸夫・手塚 章共訳）。1998年、東洋書林、264頁。
- 10) 『フランス文化と風景 下』（ジャンロベール・ピット著、手塚 章・高橋伸夫共訳）。1998年、東洋書林、256頁。
- 11) 『パリ大都市圏：その構造変容』（高橋伸夫・手塚 章・ジャンロベール・ピット共編）。1998年、東洋書林、294頁。
- 12) 『農業変化の歴史地理学』（デイビッド・グリッグ著、山本正三・手塚 章・村山祐司共訳）。2001年、二宮書店、256頁。
- 13) 『朝日ジュニアブック 世界の地理』（朝日新聞社編、菅野峰明・高橋伸夫・手塚 章・矢島舜孿・山下清海共著）。2001年、朝日新聞社、203頁。
- 14) 『EU 統合下におけるフランスの地方中心都市－リヨン・リール・トゥールーズ－』（高橋伸夫・手塚 章・村山祐司・ジャンロベール・ピット共編）2003年、古今書院、276頁。
- 15) 『フランス文化の歴史地理学』（グザヴィエ・ド・プラノール著、手塚 章・三木一彦共訳）。2005年、二宮書店、534+92頁。
- 16) 『ヨーロッパ統合時代のアルザスとロレーヌ』（手塚 章・呉羽正昭共編）。2008年、二宮書店、182頁。
- 17) 『地球学シリーズ1 地球環境学：地球環境を調査・分析・診断するための30章』（松岡憲知・田中 博・杉田倫明・村山祐司・手塚 章・恩田裕一共編）。2007年、古今書院、130頁。
- 18) 『フランス史I（中世・上）』（ミシュレ著、立川孝一・真野倫平責任編集）。2010年、藤原書店、469頁（担当箇所「タブロー・ド・ラ・フランス（フランス地理概説）」66-167頁）。
- 19) 『日本の地誌10 九州・沖縄』（野澤秀樹・堂前亮平・手塚 章共編）。2012年、朝倉書店、644頁。

2. 学術論文（順序：同一年で単著→単訳→共著）

- 1) 1960年代におけるわが国畜産業の地域的動向（共著；山本正三・手塚 章）。1977年、人文地理学研究, 1, 173-196.

- 2) 地理学の空間概念について(フィリップ・パンシュメル著, 高橋伸夫・手塚 章共訳). 1979年, 地理, **24**(3), 83-88.
- 3) 農業集落の構造－玉造町西蓮寺を例として－(共著; 桜井明久・手塚 章・渡辺恭男・上野健一). 1979年, 霞ヶ浦地域研究報告, **1**, 37-54.
- 4) フランスにおける農村地理学の動向(単著). 1980年, 地学雑誌, **89**, 297-313.
- 5) 大都市近郊外縁における「自立経営」農家の存在形態－茨城県出島村の例－(単著). 1980年, 人文地理学研究, **4**, 77-91.
- 6) 出島村における農業集落類型(単著). 1980年, 霞ヶ浦地域研究報告, **2**, 85-94.
- 7) 労働力配分からみた近郊農村の微細研究－出島村大字戸崎を事例として－(共著; 手塚 章・浅見良露). 1980年, 霞ヶ浦地域研究報告, **2**, 95-102.
- 8) 第二次大戦後におけるパリの拡大と都市計画(単著). 1981年, 人文地理学研究, **5**, 51-69.
- 9) 地理空間の特質と概念規定(フィリップ・パンシュメル著, 手塚 章訳). 1981年, 人文地理学研究, **5**, 231-237.
- 10) 都市化に伴う農村的土地利用の変化－茨城県出島村下大津を例として－(共著; 山本正三・石井英也・手塚 章). 1981年, 不動産研究, **23**(3), 3-13.
- 11) 中央高地における集落発展の一類型－長野県菅平高原の例－(共著; 山本正三・石井英也・田林 明・手塚 章). 1981年, 人文地理学研究, **5**, 79-138.
- 12) 農業経営の変化と農家の存在形態(共著; 手塚 章・奥井正俊・村山祐司・中川 正・加賀美雅弘・上田雅子・金 建錫). 1981年, 霞ヶ浦地域研究報告, **3**, 23-54.
- 13) 茨城県出島村下大津における自立型農業経営の地域的性格(単著). 1982年, 地理学評論, **55**, 814-833.
- 14) 茨城県出島村下大津における自立型農業経営の展開(単著). 1982年, 人文地理学研究, **6**, 29-50.
- 15) 出島村の地域性(共著; 山本正三・手塚 章). 1982年, 霞ヶ浦地域研究報告, **4**, 1-5.
- 16) Viable Farming Types in the Shimo-otsu District, Ibaraki Prefecture(単著). 1983年, *Science Reports of the Institute of Geoscience, University of Tsukuba. Section A, Geographical sciences*, **4**, 97-153.
- 17) 幸いなるかなユリシーズのごとく: 人文地理学におけるネットワークと地域(ジャン・ゴットマン著, 手塚 章訳). 1983年, 人文地理学研究, **7**, 265-271.
- 18) 霞ヶ浦湖岸低地における蓮根栽培の展開(単著). 1983年, 地理, **28**(5), 32-40.
- 19) 首都圏外縁部における農村の地域生態－茨城県出島村の事例－(共著; 山本正三・高橋伸夫・石井英也・手塚 章). 1983年, 人文地理学研究, **7**, 53-94.
- 20) 東村佐原組新田における人口・就業構造の変容(共著; 手塚 章・根田克彦). 1983年, 地域調査報告, **5**, 53-61.
- 21) 松本盆地南西部山形村における野菜栽培の展開と自立経営(共著; 斎藤 功・手塚 章). 1985年, 地域調査報告, **7**, 13-24.
- 22) パリ国際大学都市－大学都市建設の一例として－(エティエンヌ・ダルマツソ著, 手塚 章訳). 1986年, 日仏文化, **47**, 80-89.
- 23) 農業地理学の領域(共著; 山本正三・手塚 章). 1986年, 人文地理学研究, **10**, 1-15.
- 24) ドイツ地理学におけるラントシャフト論の展開(単著). 1987年, 人文地理学研究, **11**, 139-164.

- 25) 19世紀の地理学思想史に関するいくつかの見解 (単著). 1989年, 人文地理学研究, **13**, 95-109.
- 26) フランスのテクノポール: 経済発展と都市化 (ギィ・ジャラベール著, 手塚 章訳). 1989年, 人文地理学研究, **13**, 191-208.
- 27) アレクサンダー・フォン・フンボルトの地理学思想 (単著). 1990年, 人文地理学研究, **14**, 107-143.
- 28) 地理学の精神 (パンシュメル・フィリップ著, 手塚 章訳). 1990年, 地理, **35**(8), 86-95.
- 29) カール・リッターの地理学思想 (単著). 1991年, 人文地理学研究, **15**, 87-123.
- 30) ヨーロッパの地域区分再考 (単著). 1992年, 地理, **37**(1), 31-37.
- 31) 地理学のなかの境界論 (単著). 1992年, 地理, **37**(12), 26-32.
- 32) 第二次世界大戦後におけるパリ周辺地域の農業変化 (単著). 1993年, 地学雑誌, **102**, 314-326.
- 33) フランスにおけるブドウ栽培地域の変化 (単著). 1993年, 人文地理学研究, **17**, 33-48.
- 34) 新潟県山間地域における人口移動の地域特性 (単著). 1993年, 地域調査報告, **15**, 23-30.
- 35) Les études des régions de montagne dans la géographie humaine japonaise (共著; 山本正三・手塚 章). 1993年, *Dossier de la Revue de Géographie Alpine*, **11**, 17-21.
- 36) 乳量割当制度下におけるフランス酪農業の地域的動向 (単著). 1994年, 人文地理学研究, **18**, 1-17.
- 37) 戦前期わが国地理学界におけるラッツェル『人文地理学』の受容特性 (単著). 1995年, 人文地理学研究, **19**, 135-149.
- 38) パリ大都市圏の後背農村における農場経営の変化—ボース平野北東部エタンブ郡の事例— (共著; 菊地俊夫・高橋伸夫・桜井明久・手塚 章・村山祐司). 1995年, 経済地理学年報, **41**, 227-242.
- 39) フランスにおけるコレーム地理学の展開とその問題点 (単著). 1996年, 地誌研年報, **5**, 21-34.
- 40) 新パリ大都市圏整備計画の背景と理念 (単著). 1996年, 人文地理学研究, **20**, 135-144.
- 41) 20世紀の地理学者たち19 フィリップ・パンシュメル (単著). 1996年, 地理, **41**(2), 73-78.
- 42) パリ市における居住空間の特質 (共著; 村山祐司・高橋伸夫・桜井明久・手塚 章・菊地俊夫・松村公明). 1997年, 人文地理学研究, **21**, 1-37.
- 43) 福島市湯野地区における果樹園芸農業の展開と近年の変化 (共著; 手塚 章・岡本友志). 1997年, 地域調査報告, **19**, 11-21.
- 44) Structure et dynamisme d'un quartier dans le centre-ville de Tokyo (共著; 手塚 章・高橋伸夫・田林 明・宇川香奈). 1998年, *Annales de Géographie*, **107**, 410-430.
- 45) La dynamique spatiale de la zone côtière autour de la baie de Tokyo (共著; 手塚 章・高橋伸夫). 1998年, *Hommes et Terres du Nord*, **98**, 225-228.
- 46) 筑後川下流クリーク地帯における農村景観と農業活動の変容—福岡県大川市中八院地区を事例として— (共著; 美谷 薫・二村太郎・美濃部 篤・手塚 章). 1999年, 地域調査報告, **21**, 13-26.
- 47) 地理学における文化的アプローチ (ポール・クラヴァル著, 手塚 章訳). 2000年, 人文地理学研究, **24**, 169-179.
- 48) EU 統合下におけるリアル大都市圏の構造変容 (共著; 高橋伸夫・手塚 章). 2000年, 人文地理学研究, **24**, 131-168.
- 49) 新共通農業政策下におけるフランス農業変化の地域的側面 (単著). 2001年, 人文地理学研究, **25**, 249-271.

- 50) EU 統合下におけるリヨン大都市圏の構造変容 (共著;高橋伸夫・手塚 章・村山祐司・平 篤志・小田宏信・松村公明). 2001年, 人文地理学研究, **25**, 201-248.
- 51) 松本盆地南西部山形村における郊外化の進展と畑地灌漑農業の動向 (共著;黒崎郁子・渡部宏輝・手塚 章). 2001年, 地域調査報告, **23**, 79-86.
- 52) EU 統合下におけるフランスの国境地域 (単著). 2002年, 歴史と地理, **553**, 1-9.
- 53) フランスの農業地図 (単著). 2002年, 地図情報, **82**, 14-16.
- 54) EU 統合下におけるトゥールーズ大都市圏の構造変容 (共著;高橋伸夫・手塚 章・村山祐司・平 篤志・松村公明・松井圭介・小田宏信). 2002年, 人文地理学研究, **26**, 45-80.
- 55) ヨーロッパ中軸国境地帯における空間組織の変容－アルザス・ロレーヌ地方を中心として－ (単著). 2003年, 人文地理学研究, **27**, 33-47.
- 56) 長野県菅平高原における高冷地野菜栽培の特色 (共著;上江洲朝彦・仁平尊明・手塚 章). 2003年, 地域調査報告, **25**, 1-18.
- 57) 1960年代以降におけるフランス農村地理学の動向 (単著). 2004年, 人文地理学研究, **28**, 1-11.
- 58) 岡谷市における工業の地域的特色 (共著;丸山美沙子・小林達也・ギギ＝モセス・仁平尊明・手塚 章). 2005年, 地域研究年報, **27**, 41-74.
- 59) 国境都市からトランスボーダー都市へ(1):ストラスブールの事例 (単著). 2006年, 人文地理学研究, **30**, 113-125.
- 60) フランスの地理学 (単著). 2012年, 地学雑誌, **121**, 617-625.

3. 分担執筆

- 1) 長野県菅平高原における新しい地域生態(共著;山本正三・石井英也・田林 明・手塚 章). 1984年, 市川健夫・山本正三・斎藤 功編『日本のブナ帯文化』(朝倉書店), 235-249頁.
- 2) 中央高地における集落発展の一類型－長野県菅平高原の例－(共著;山本正三・石井英也・田林 明・手塚 章). 1986年, 上野福男編著『日本の山村と地理学』(農林統計協会), 267-344頁.
- 3) 農業地理学の領域 (共著;山本正三・手塚 章). 1986年, 上野福男先生喜寿記念会編『農業地理学の課題』(大明堂), 120-142頁.
- 4) 地理学の革新と伝統 (単著). 1988年, 中村和郎・高橋伸夫編『地理学への招待』(古今書院), 168-191頁.
- 5) アフリカの農村と食料問題 (単著). 1996年, 高橋伸夫・谷内 達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門－地理学でみる日本と世界－』(古今書院), 112-115頁.
- 6) フィリップ・パンシュメル(単著). 2001年, 竹内啓一・杉浦芳夫編『20世紀の地理学者』(古今書院), 196-201頁.
- 7) 人文地理学の成立とその後の軌跡 (単著). 2003年, 高橋伸夫編『21世紀の人文地理学展望』(古今書院), 20-29頁.
- 8) フランス・ワインの新しい地理学 (ジャンロベール・ピット著, 手塚 章訳). 2003年, 高橋伸夫編『21世紀の人文地理学展望』(古今書院), 676-691頁.
- 9) 政治・行政 (共著;美谷 薫・手塚 章). 2006年, 山本正三・谷内 達・菅野峰明・田林 明・奥野隆史編『日本の地誌2 日本総論II (人文・社会編)』(朝倉書店), 153-164頁.

- 10) 松本盆地南西部山形村における野菜栽培の展開（共著；斎藤 功・手塚 章・黒崎郁子・渡部宏輝）. 2008年, 斎藤 功編著『中央日本における盆地の地域性－松本盆地の文化層序－』（古今書院）, 131-144頁.
- 11) アフリカの農村と食料問題（単著）. 2008年, 高橋伸夫・谷内 達・阿部和俊・佐藤哲夫・杉谷隆編『改訂新版ジオグラフィー入門』（古今書院）, 126-129頁.
- 12) フランスのエスニック社会（単著）. 2008年, 山下清海編著『エスニック・ワールド－世界と日本のエスニック社会－』（明石書店）, 130-137頁.
- 13) 自然環境と伝統農業（単著）. 2011年, 加賀美雅弘編『世界地誌シリーズ3 EU』（朝倉書店）, 9-21頁.

4. その他

[科研]

- 1) 1983年度科学研究費『首都圏近郊外縁の蔬菜園芸産地における自立型農業経営の展開とその地域的性格』（代表）. 奨励研究(A) 研究成果報告書（58780213）.
- 2) 1985年度科学研究費『関東平野における自立型農家の存在形態に関する総計的分析』（代表）. 奨励研究(A) 研究成果報告書（60780258）.
- 3) 1986・87年度科学研究費『わが国の農村地域における非農業化現象に関する動態的研究』（代表；山本正三）. 一般研究(B) 研究成果報告書（61450090）.
- 4) 1987・88年度科学研究費『関東東北部における限界地立地集落の発展の軌跡』（代表；石井英也）. 一般研究(C) 研究成果報告書（62580187）.
- 5) 首都圏外縁部における生産地形成（単著）. 1990年, 1988・89年度科学研究費『わが国における交通システムと地域システムの関係に関する地理学的研究』（代表；奥野隆史）. 総合研究(A) 研究成果報告書（63301096）.
- 6) 1990年度科学研究費『日仏における山地環境の比較地理学的研究』（代表；山本正三）. 総合研究(B) 研究成果報告書（02351010）.
- 7) 1990・91年度科学研究費『野菜F_1品種の空間的拡散に関する計量的・地域生態論的研究』（代表；斎藤 功）. 一般研究(C) 研究成果報告書（02680190）.
- 8) 1991・92年度科学研究費『国際的都市群システムに関する地理学的研究』（代表；村山祐司）. 一般研究(C) 研究成果報告書（03808029）.
- 9) 1991年度科学研究費『余暇と海山リゾート－日仏先進社会の比較－』（代表；小堀 巖）. 国際学術研究研究成果報告書（03044169）.
- 10) 1992年度科学研究費『CA貯蔵の進展と果樹栽培地域の再編成－カキ栽培を中心に－』（代表；斎藤 功）. 一般研究(C) 研究成果報告書（04680239）.
- 11) 1992・93年度科学研究費『世界における地理学的書誌に関する研究』（代表；奥野隆史）. 一般研究(C) 研究成果報告書（04680237）.
- 12) 1993・94年度科学研究費『戦前期日本における独仏地理学思想の受容に関する基礎研究』（代表）. 一般研究(C) 研究成果報告書（05680122）, 73頁.
- 13) 1993-95年度科学研究費『パリ大都市圏の構造変容に関する地理学的研究』（代表；高橋伸夫）. 国際学術研究研究成果報告書（05041029）.

- 14) 1996・97年度科学研究費『アジアにおける国際的都市群システムの発展過程に関する地理学的研究』(代表：村山祐司). 基盤研究(C) 研究成果報告書 (08680162).
- 15) 1996・97年度科学研究費『軽種馬牧場の立地と持続的農業に関する地域システム論的研究』(代表：斎藤 功). 基盤研究(B) 研究成果報告書 (08458024).
- 16) 1998年度福武学術文化振興財団(研究助成)『EU 共通農業政策下におけるラングドック地方(フランス)のブドウ栽培農村の変化』(代表).
- 17) 1998-2000年度科学研究費『EU 共通農業政策の改革にともなうフランス農業変化の地域的側面』(代表). 基盤研究(C) 研究成果報告書 (10680076), 47頁.
- 18) EU 統合下におけるリール大都市圏の構造変容(共著：高橋伸夫, 手塚 章), EU 統合下におけるリヨン大都市圏の構造変容(共著：高橋伸夫, 手塚 章, 村山祐司, 平 篤志, 小田宏信, 松村公明). 2001年, 1998-2000年度科学研究費『EU 統合下におけるフランスの空間動態』(代表：高橋伸夫). 国際学術研究→基盤研究(A) 研究成果報告書 (10041062), 1-38, 117-164頁.
- 19) 農村の政策と行政サービス(単著), ヨーロッパにおける農村地理学の動向-フランス(単著), 長野県菅平高原における高冷地野菜栽培の特色(単著), フランスの農業地図(単著). 2004年, 2001-2003年度科学研究費『日本における農村地理学の構築のための理論的・実証的研究』(代表：田林 明). 基盤研究(B) 研究成果報告書 (13480014), 117-120, 133-145, 413-431, 454-457頁.
- 20) 2001・02年度科学研究費『フランス・ドイツ国境地帯における地域統合の空間動態』(代表). 基盤研究(B) 研究成果報告書 (13572036), 155頁.
- 21) 2005-07年度科学研究費『ヨーロッパ中軸地帯におけるトランスボーダー都市の空間動態』(代表). 基盤研究(B) 研究成果報告書 (17401030), 202頁.
- 22) 2008-2010年度科学研究費『ヨーロッパ流動軸(ユーロコリダー)の形成にともなうライン地域の空間再編』(代表). 基盤研究(B) (20401041).
- 23) 2010-2014年度科学研究費『フィールドワーク方法論の体系化-データの取得・管理・分析・流通に関する研究-』(代表：村山祐司). 基盤研究(A) (22242027).

[その他]

- 1) 書架：アフリカの全体像をとらえる(単著). 1987年, 地理, **32**(11), 116-119.
- 2) 書評と紹介：Philippe et Geneviève PINCHEMEL *La face de la terre (Éléments de géographie)* Armand Colin, 1989年, 地学雑誌, **98**, 511-512.
- 3) 書架：第三世界の経済開発-「海外援助」に関する本(単著). 1989年, 地理, **34**(1), 110-113.
- 4) 書架：地理学の真髄をつたえる(単著). 西川 治『地球時代の地理思想-フンボルト精神の展開-』古今書院, 1988年, 地理, **33**(11), 110.
- 5) 書架：文検時代の地理学と地理教育(単著). 佐藤由子『戦前の地理教師-文検地理を探る-』古今書院, 1989年, 地理, **34**(2), 79.
- 6) 共通農業政策の転換とフランス農業(単著). 1994年, 地理月報, **416**, 1-3.
- 7) 書評：肥田 登編『秋田の水-資源と環境を考える』無名舎出版, 1995年, 地学雑誌, **104**, 312-313.
- 8) 世界都市パリの変容(単著). 1997年, 地理月報, **437**, 1-3.
- 9) ドーバー海峡とユーロトンネル(単著). 1999年, 地図情報, **71**, 4-7.
- 10) フンボルトとリッター(単著). 1999年, つくばね(筑波大学附属図書館報), **25**(2), 1-3.

- 11) 転換期をむかえたヨーロッパの農業 (単著). 2000年, 地理月報, **457**, 9-12.
- 12) 書評・紹介: TAKEUCHI Keiichi *Modern Japanese Geography: An Intellectual History* 古今書院, 2001年, 地学雑誌, **110**, 281-282.
- 13) 書評・紹介: アルフレート・ヘットナー著, 平川一臣・守田 優・竹内常行・磯崎 優訳『地理学－歴史・本質・方法－』古今書院, 2001年, 地学雑誌, **110**, 446-447.
- 14) 座談会: 日・仏の地歴教科書をめぐって－東京にて－(手塚 章・菊地俊夫・二宮道明ほか). 2001年, 海外の教育, **27**(6), 36-44.
- 15) EU 統合下におけるフランスの国境地域 (単著). 2002年, 歴史と地理, **553**, 1-9.
- 16) 2002年度人文地理学会大会特別研究発表－報告・討論の要旨および座長の所見: 杉浦芳夫: ワイマール期ドイツのChristaller－中心地理論誕生前史－ (単著). 2003年, 人文地理, **55**, 76-79.
- 17) 学会展望 (学史・方法論) (単著). 2003年, 人文地理, **55**, 224-226.
- 18) グローバル化の進展と新しい世界 (単著). 2008年, 地理月報, **504**, 1-2.
- 19) 地理空間について (単著). 2008年, 地理空間, **1** (1), 72-74.